

海上保安大学校練習船「いつくしま」船内見学会

日本人会事務局員 レベッカ・チェイ

海上保安大学校の練習船「いつくしま」は、2026年3月に海上保安大学校を卒業した68人の学生を乗せて、シンガポールやフィリピンなどを巡りながら、遠い海を航海する演習（遠洋航海実習）をしています。

その実習の一環として、「いつくしま」は2026年7月8日（水）から12日（日）までシンガポールに寄港しました。本船は総トン数約5,500トン、全長134メートル、速力20ノット以上を誇る大型の練習船です。

シンガポール寄港中の7月11日（土）には、海上保安大学校主催の一般公開が実施され、抽選で選ばれた一般来場者が船内を見学しました。私も幸運にも当選し、見学する機会を得ました。



海上保安大学校練習船「いつくしま」、マリーナケッペルベイに停泊



「いつくしま」の舷門

船内では、これまで寄港した各国で収集した記念品が展示されていたほか、一部の航海計器や設備に実際に触れることもできました。

また、各所に配置されていた乗組員の方々は非常に親切で、船上での生活や日々の業務、使用している機器、海上保安大学校での経験などについて丁寧に説明してくださいました。皆さんが誇りを持って任務に取り組まれている様子が印象的でした。

特に印象に残ったのは、船内の生活設備です。シャワー室や洗濯設備が整っており、練習船でありながら乗組員の生活環境にも十分な配慮がなされていることを知りました。



PL23「いつくしま」のしゃもじとタペストリー



「いつくしま」のシャワー室



「いつくしま」の洗濯エリア



「いつくしま」のナビゲーションパネル

今回の一般公開は、特にこれまで大型船に乗る機会のなかった方々にとって、非常に貴重で思い出深い経験になったのではないかと思います。このたびシンガポールに寄港し、一般公開の機会を提供してくださった海上保安大学校および「いつくしま」の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、今後の航海の安全をお祈りいたします。

文責・写真：レベッカ・チェイ
日本人会事務局員



筆者